

神奈川県・箱根 宮ノ下温泉

はこねぎんゆう

箱根吟遊

HAKONEGINYU

箱根随一の絶景を望み全室に露天風呂を持つリゾート必至の名宿

〒250-0404 神奈川県足柄下郡箱根町宮ノ下100-1
TEL: 0460-82-3355



温泉成分表

湯の色: 無色透明 湯の香り: 無臭
 溶存物質 (ガス性のものを除く成分①+②+③の合計): 1,142 mg/kg
 泉温: 52.6°C pH値: 8.4 (弱アルカリ性)

湧出量: 約90リットル/分

一人あたりの温泉利用量 (湧出量/収容人数): 約1.2リットル/人 ※最大収容人数75人
 ※源泉かけ流しの必要条件・浴槽管理に必要な温泉量は、入湯客1人当たり1リットル/分以上(「源泉湯宿」より引用)

温泉の成分 (源泉 1kg 中に含有する分量)

陽イオン	ミガタ	ミガタ%	陰イオン	ミガタ	ミガタ%
リチウムイオン (Li ⁺)	0.45	0.09	ふッ化物イオン (F ⁻)	0.14	0.01
ナトリウムイオン (Na ⁺)	321	13.94	塩化物イオン (Cl ⁻)	472	13.31
カリウムイオン (K ⁺)	25.0	0.65	臭化物イオン (Br ⁻)	0.95	0.01
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	2.98	0.30	硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	55.7	1.16
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	31.8	1.58	炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	76.1	1.25
ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	0.05	0.00	炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	5.83	0.15
第一鉄イオン (Fe ²⁺)	0.17	0.00	硝酸イオン (NO ₃ ⁻)	1.58	0.02
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.02	0.00	メタケイ酸イオン (HSiO ₃ ⁻)	20.4	0.28
マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.06	0.00	メタホウ酸イオン (NO ₃ ⁻)	9.11	0.21
亜鉛イオン (Zn ²⁺)	0.12	0.00			
計①	381.65	16.56	計②	641.81	16.39
非溶解成分	ミガタ	ミガタ%	溶存ガス成分	ミガタ	ミガタ%
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	103	13.28	遊離二酸化炭素 (CO ₂)	0.08	0.00
メタホウ酸 (HBO ₃)	14.8	0.34			
計③	117.80	13.62	計④	0.08	0.00

陽イオン: 0.00mg/kg、陰イオン: 0.01mg/kg、カドミウムイオン: 0.00mg/kg、総ヒ素: 0.568mg/kg、総水銀: 0.000mg/kg

※適応症・禁忌症に関しては、平成26年7月改正の「鉱泉分析法指針」に準拠しています。宿よりデータを提供して頂きました。

この泉質ならではの浴用の適応症 (平成26年7月1日改定)

きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症

浴用の一般的適応症 (平成26年7月1日改定)

筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり (関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下 (胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常 (糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状 (睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進

この泉質ならではの浴用の禁忌症 (平成26年7月1日改定)

なし

浴用の一般的禁忌症 (平成26年7月1日改定)

病気の活動期 (特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

飲用の適応症

不可

分析日 (上記の温泉成分表は下記機関の調査データより引用)

平成19年12月20日 (神奈川県温泉地学研究所)

温泉の言い伝え/その他

伝承による効能: 「頭痛、痲痺、腰痛、脚気、積聚、中風、疝気、風毒、すぢけ、喘息、眩暈、血塊、打身、痔漏、くぢき、帯下」という記録あり

この湯に浸かった歴史上の人物: アメリカ陸軍元帥・ダグラス・マッカーサー (1880年~1964年)、アメリカ合衆国大統領・ドワイト・D・アイゼンハワー (1890年~1969年)、コメディアン・チャールズ・チャップリン (1889年~1977年)、社会福祉活動家・ヘレン・ケラー (1880年~1968年)、ミュージシャン・ジョン・レノン (1940年~1980年) など多数

この湯に浸かった著名人: 多数の文化人・芸能人が訪れているがプライベートの為に不記載

水素イオン濃度 (pHペーハー)



肌の感触: 一言コメント: 刺激が少なく優しい肌触り

泉質名: ナトリウム-塩化物温泉

(低張性 弱アルカリ性 高温泉) (旧泉質名: 純弱食塩泉)

源泉率: 100%

湯の入替: 大浴場...2日に1回
 客室露天風呂...毎日
 「Ginyu Spa」貸切露天風呂...毎日

源泉の湧出状況: 姉妹館「武蔵野別館」の敷地にある動力揚湯の自家源泉 (宮ノ下温泉) から引き湯

引湯方法: パイプで引湯

源泉から湯舟までの距離: 約1km

温度の調整方法: 男女別大浴場、客室露天風呂...適宜加温して調整
 「Ginyu Spa」貸切露天風呂...湯量を調節して調整

温泉力チャート (5段階評価)



美肌の湯 4要素

該当数 2

※アルカリ性の泉質、その他「メタケイ酸」を含むことから該当数2

肌の美白効果	肌のなめらか効果	肌の蘇生効果	肌のつるすべ効果	その他
硫黄泉	炭酸水素塩泉	硫酸塩泉	(弱)アルカリ性	メタケイ酸

温泉レポート (文・温泉&旅 倶楽部 代表 大竹央将 / 温泉&宿 コンシェルジュ 大竹 仁一)

「箱根吟遊」の源泉は、約1km離れた姉妹館「武蔵野別館」にある源泉井戸から引湯したもの。泉質は弱アルカリ性 (pH8.4) の「ナトリウム-塩化物温泉」だ。

まずは弱アルカリ性であることに注目。人間の肌は一般的に弱酸性であるため、アルカリ性の温泉に浸かると皮膚表面の古くなった角質が溶けるのでツルツルとした肌触りとなる。角質が取れるので、湯上がりには肌のトーンは明るくなっているように感じるだろう。このような性質から、(弱)アルカリ性であることは美肌の湯と呼ばれる条件のひとつである。

塩化物泉は、その名前の通り塩分を含む温泉。塩化物泉ならではの適応症はきりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症など。

塩分に含む温泉に浸かると、塩分がまるでバックのように身体を覆ってくれる。このバックが汗腺 (汗を分泌する器官) を塞ぐので、湯上がり後の体温低下が緩やかになりポカポカ感が長続きするのだ。このため塩化物泉は「熱の湯」とも呼ばれる。冷え性は塩化物泉以外の泉質も適応症として認められることがあるが、塩化物泉は特に効果が高いと考えられる。同時に、長続きするポカポカ感は末梢循環障害の改善に役立つだろう。またこの塩分バックは湯上がり後の皮膚乾燥も抑えてくれる。

ところで海に入った時に傷口が沁みた経験はないだろうか。これは、塩分には殺菌作用があるためである。塩化物泉に入浴することで皮膚表面のトラブルを広く抑えてくれる効果が期待できるだろう。例えば、きりきずや火傷に効果を発揮するので塩化物泉は「傷の湯」と呼ばれることもある。とはい塩分濃度の違いからこの宿の温泉に浸かっても傷口が強く沁みることはないのご安心を。

泉質名にも現れていない成分にも注目。メタケイ酸が源泉 1kg あたり 103mg 含まれている。メタケイ酸は、50mg 以上含むと温泉と認められる物質。つまり規定値の倍以上が含有されているのが分かる。そして、一部の化粧水の原材料として利用されることもあり、天然の保湿成分とも称される。湯上がりには肌がしっとりとしているだろう。メタケイ酸を豊富に含むことも美肌の湯と呼ばれる条件のひとつとなっている。

メタホウ酸も 14.8mg 含まれており、これは基準値 (5mg) の3倍近い数値。メタホウ酸は肌の洗浄作用があるため、ニキビ等、皮膚表面のトラブルに効果があると考えられている。また制菌作用もあり、目薬に加えられている場合もある。

この宿では、大浴場と客室露天風呂では循環・消毒を行い、エステ施設「Ginyu Spa」に備え付けられているお風呂では源泉 100%かけ流しにして湯使いを使い分けている。

「Ginyu Spa」は基本的にエステ利用客に限定されるが、夜間は1日1組限定でエステ施設全体を貸し切ることできる。また、前述したようにこの宿の温泉はバックのように身体を覆ってくれるのでエステ後の仕上げの湯としてピッタリなのだ。

消毒を行うにしても、この宿は一般的な旅館のようにただ塩素系薬剤を投入するのではなく、セラミックに銀を融合させた物質を利用する多機能型除菌装置を使用している。この装置は、「ぬめり」の原因であるレジオネラ菌を含むあらゆる好気性細菌を除菌するだけでなく、塩素や窒素の化合物を分解して発がん性の高いトリハロメタンやダイオキシンの発生も防いでくれる。不特定多数が入浴する大浴場でも、ここまできちんとした消毒を行ってくれるならば、老若男女問わず安心して入浴できるに違いない。

また、この宿のお風呂からの眺望も特筆すべきポイントだ。箱根連山を望みながらの湯浴みは転地効果が抜群だ。転地効果とは、普段あまり目にしないような景色を見たり、そのような環境に身を置くことでリフレッシュ効果や体調回復が得られること。その転地する場所が、絶景で、非日常であるほどその効果は高くなる。例えば大浴場「月代 (つきしろ)」の露天風呂は湯舟の縁や手すりが見えないようになっている。いわゆるインフィニティ露天風呂と呼ばれるお風呂。

国内でも同じような露天風呂が最近よく見られるようになったが、ここ「箱根吟遊」がその潮流を作ったのは間違いなし。実際に浸かってみると、まるで自分が湯に浸かりながら箱根連山上空を飛んでいるかのような感覚が得られる。日常のストレスなど、この温泉に一度浸かれば一気にどこかへ吹き飛ばされてしまうだろう。箱根随一と言われる眺望を十分に堪能していただきたい。